

全校総合「一人一研究」

R5. 7. 18

各クラスをオンラインでつなぎ、全校生徒で「総合的な学習の時間」を行いました！
今年度は、生徒一人一人が自ら課題を設定し探究する「一人一研究」に取り組みます。
以下がそのねらいです。

- ・自ら課題を設定し、より良く解決する力を身に付けさせる。
- ・ガイダンス機能と探究的な学習の環境を充実させ、多様な学び方を身に付けることができる生徒を育成する。

下の図は、アイデアを広げていくためのシンキングツール「ウェビングマップ」です。
1本のペットボトルから連想し、つながりを考えていきます。
そして、それぞれの事象が、9教科のどの教科と関連が深いのか考えました。

学校で学んでいることに何一つ無駄な学びはなく、どの教科の学びも世の中で必要とされています。

ウェビング・マップ

3年生の代表3名が、学年テーマ「宮城県」についての自分の探究課題を説明しました！
例えば、「自分が生まれ育った気仙沼について」であったり、「日本三景の松島の観光業について」であったり、「国宝大崎八幡宮について」であったりしました。
夏休みを利用して、現地を訪れたり、調べ学習を行ったりします。



今年度の重点目標【総合的な学習の工夫】

「自己の生き方を問い、自らの学びを客観的に捉えることができる生徒の育成」